

改正85の改正への対応方針(案)

	概要	対応方針	
VOL.1 無線航法支援	【仮訳】 ビル又は地面反射により希望波の反射信号で干渉を引き起こす着陸誘導システム(ILS)ローカライザーの信号品質の改善 Improvement of the instrument landing system (ILS) localizer signal quality at aerodromes where building or terrain reflections cause interference of the reflected signal with the desired signal;	国内の既存ILSの状況を把握するとともに、既に設けられた国内規定を考慮しつつ、当該改正を反映するかについて技術的検討を行う。 ※ ILSを設置する際のローカライザー信号に関する基準の緩和であることを考慮する。	1
	【仮訳】 全地球的航法衛星システム(GNSS)カテゴリIIによる誘導運用の拡大 Extension of global navigation satellite system (GNSS) Category I approach operations; and	当該改正は、GNSSを利用した着陸誘導運用に関する基準を設けるものである。 当該改正が電波法に定める技術的条件に該当するか検討を行う。	2
	【仮訳】 GLONASSの向上 Evolution of the <u>G</u> lobal <u>N</u> avigation <u>S</u> atellite <u>S</u> ystem (GLONASS).	当該改正は、国内で利用する予定がないので技術的検討は行わない。	3
VOL.3 PART1 デジタルデータ通信	【仮訳】 24ビットアドレスの締約国への分配及び分配表の更新に関する手順の改善 Improvement of the procedure for the allocation of 24-bit addresses to States and updating the table of allocations.	当該改正が、電波法に定める技術的条件に該当するか検討を行う。	4
	概要	対応方針	
VOL.4 監視と衝突シス	【仮訳】 運用実態をもとにした二次監視レーダ(SSR)(モードA/CとS)及び	当該改正に対応する機器の導入・改修状況を踏ま	5

テム	1090MHzの拡張スキッタを使用するADS-Bに関する規定の更新 Update of provisions relating to secondary surveillance radar (SSR) (Modes A/C and S) and automatic dependent surveillance — broadcast (ADS-B) using 1 090 MHz extended quitter resulting from operational experience;	えつつ、当該改正を反映するかについて技術的検討を行う。	
	【仮訳】 航空交通監視に使用するMLATシステムに関するシステムレベル及び機能に関する要求条件の導入 introduction of a system-level and functional requirement for multilateration systems used for air traffic surveillance;	当該改正は、昨年情報通信審議会から答申を受け、平成 21 年 10 月に電波監理審議会に諮問し、12 月に答申を受け、平成 22 年 3 月に制度化していることから、対応を要しない。	6
	【仮訳】 機上で、ADS-B INメッセージの使用により可能となる機上監視アプリケーションに関する初期的な技術的要求条件の導入 Introduction of an initial set of technical requirements for airborne surveillance applications that are enabled by the use of ADS-B IN messages on the flight deck;	当該改正に対応する機器の義務化の動向を踏まえつつ、当該改正を反映するかについて技術的検討を行う。	7
	【仮訳】 接近した交通、交通情報 (TA)及び回避情報(RA)の表示に関する新たな要求条件 New requirements for display of proximate traffic, traffic advisory (TA) and resolution advisory (RA);	当該改正に対応する機器は実態として既に導入されているが、義務化の動向を踏まえつつ、当該改正を反映するかについて技術的検討を行う。	8
	概要	対応方針	
VOL.4 監視と衝突システム	【仮訳】 関連する最近の進展を踏まえたハイブリッド監視に関する規定の更新 Update of provisions on hybrid surveillance in light of relevant recent developments; and	当該改正に対応する機器の導入状況及び義務化の動向を踏まえつつ、当該改正を反映するかについて技術的検討を行う。	9

	【仮訳】 衝突回避システム(CAS)ロジック(一般的に航空機衝突回避警告システム(TCAS)バージョン 7.1 と呼ばれる)の新たなバージョンの実施により影響される RA(回避情報)が発せられている間の自機の垂直離隔距離のモニターに関する新たな機能要求条件の導入 CASロジックの新たなバージョンは、RAのアナウンスの「垂直速度を調整せよ調整せよ」から「レベルをオフせよ」への変更も含む introduction of a new functional requirement for monitoring own aircraft's vertical rate during an RA which would be affected by implementing a new version of the collision avoidance system (CAS) logic (commonly referred to as traffic alert and collision avoidance system (TCAS) Version 7.1). The new version of the CAS logic would also include a change in the annunciation of the RA "Adjust Vertical Speed, Adjust" to "Level Off".	当該改正に対応する機器の導入状況及び義務化の動向を踏まえつつ、当該改正を反映するかについて技術的検討を行う。	10
--	--	---	----